



モビリティサービス最新動向ガイド



四半期毎更新

SBDでは欧州、米国、中国において自動車メーカー各社が展開しているモビリティサービスに関する調査を継続的に行っており、最新情報をまとめたレポート「モビリティサービス最新動向ガイド」を四半期ごとに発行しています。

現在ほとんどのOEMがモビリティ関連のサービス/イニシアチブ/プログラムを発表していますが、各社の取り組みの積極性には差が見られます。本書ではモビリティサービスの概要、モビリティにおけるOEMの取り組み、各サービスの詳細（概要、関連OEM、運営チャンネル、最新情報など）を網羅しています。

OEMによる欧州でのモビリティサービスへの取り組み

出典：SBD「モビリティサービス最新動向 欧州編」

展開なし、または試験段階	限定的なサービス展開	サービスを展開済み

本書で扱うモビリティサービス

カーシェアリング	ライドヘイリング	P2Pシェアリング	相乗り	レンタカー	マルチモーダル
<p>短期間のレンタカーサービスモデルで、ユーザーは車両とピックアップ/乗り捨て場所の選択が可能。通常、スマートフォンアプリやRFIDカードを用いてユーザーに車両の一時的使用を許可する。</p>	<p>配車サービスの一形態で、通常、事業者の従業員ではなくドライバーが個人の所有車両を使用してサービスを請け負う。スマートフォンとGPS位置情報を利用し、進化した新しいタクシーサービスとして機能する。</p>	<p>車両所有者が車両を使用していないときに他者に貸し出すサービス。これは、他業界で様々な企業が大きな成功を収めているP2P（ピアツーピア）シェアリングエコノミーの自動車業界版。</p>	<p>すでに確定されたルートを行く車両に同乗するサービス。事業者は「仲介者」としてルートの告知や乗車予約受け付けを担当する。特定の場所へ行く個人が提供する場合とコスト全体をユーザー全員で分ける場合とがある。</p>	<p>従来のレンタカーサービスを煩わしい手続きから解放して進化させた日ベースのレンタカーサービスで、ユーザーは多様なレンタル期間を選択可能。</p>	<p>マルチモーダル事業者が様々なモビリティサービスや輸送手段を組み合わせたサービスを提供。ユーザーの好みに合わせて、ある地点から別の地点への移動を最速かつ安価に、また可能な限り効率的に行えるようにするサービス。</p>

本書で取り扱う事例

各市場で展開するサービスの概要、アーキテクチャ、料金モデル、利用の流れ

* 本書掲載事例の一部

欧州	米国	中国

